

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873400216
法人名	(有) たんぽぽ介護サービス
事業所名	くま安心館グループホーム
所在地	上浮穴郡久万高原町久万540-3
自己評価作成日	平成24年7月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・その人らしく穏やかに、居心地のよい場所になるように努力している。・おいしい食事の提供</p>
--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年7月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>●利用者の状態変化等により、浴室や階段等の不便さも感じられて、昨年12月に、事業所を現在の地区に移転された。事業所でクリスマス会を行うことをきっかけに、地域の方にも事業所を知っていただきたいと、民生委員の方や地域の方を招待された。又、春には、自治会長が地区のお花見会に誘ってくださり、職員2名が参加された。お花見時に、近くの交番の方も参加されており、お話する中で運営推進会議への出席につながったようだ。</p> <p>●共有スペースが広い造りで、職員からの希望もあり、利用者の居場所に職員の目が届きやすいように造られている。居間は窓を大きくとり、自然の光を採り入れておられる。居間では時々、卓球したり、ソフトバレーボールを使って運動されたり、カラオケを楽しまれることもある。廊下には、休憩できるように所々にソファを配しておられた。居間から庭に出られるようになっており、庭で野菜を育てたり、バーベキューを楽しまれている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 くま安心館グループホーム

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

露口 理江

評価完了日

24 年 7 月 6 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事業所の理念は地域密着型サービスの意義を踏まえたものではないが、理解しやすいもので、日々の業務を行う上で職員共通の介護の指標となっている。	
			(外部評価) 事業所理念に「まごころサービス・やさしい介護」を掲げておられ、管理者は特に、「利用者の立場に立つ」ということを大事にして取り組まれている。管理者は、ミーティング等で理念について職員に話しておられ、職員は、「自分が利用者の立場だったらどうか」と立ち戻りながらケアに取り組まれている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) お花見や一斉清掃などに、利用者・スタッフ共に積極的に参加している。近隣の住民を館内に招く催しも行われ、利用者との交流の場ももっている。事業所だよりを回覧し、地域住民に知ってもらうよう努めている。	
			(外部評価) 利用者の状態変化等により、浴室や階段等の不便さも感じられて、昨年12月に、事業所を現在の地区に移転された。事業所でクリスマス会を行うことをきっかけに、地域の方にも事業所を知っていただきたいと、民生委員の方や地域の方を招待された。又、春には、自治会長が地区のお花見会に誘ってくださり、職員2名が参加された。お花見時に、近くの交番の方も参加されており、お話する中で運営推進会議への出席につながったようだ。地区の回覧板で、「事業所だより」を回覧した際には、顔写真入りで職員の紹介を載せられ、地域の方から、「見たよ」と声をかけてもらったこともあった。地域の公民館祭り等に参加して交流されており、今後は「地域の方達を事業所に招き、認知症の勉強会等を行いたい」と考えておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議を通じ、近隣の住民への認知症への理解や支援方法を伝えている。また地元の社会福祉協議会の協力を得て、当施設において認知症サポーターセミナーを開催し、多くの地域住民や家族が参加した。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議で出された提案は、スタッフミーティングで伝達協議し、日々のサービスで実践できている。ボランティアの活用などの提案をしていただいた。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議には、民生委員や介護相談員も参加してくださっており、利用者の近況報告や行事、研修の報告を行っておられる。参加者からボランティアの受け入れを提案していただき、9月から、フラダンスを教えてくださいと来てくれるようになっていた。町内の4グループホームの交流が始まり、会議に相互に出席することとなり、管理者は、「他事業所の会議のすすめ方等を参考にしたい」と話しておられた。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議だけに限らず、食事会、クリスマス会に参加して頂き、日々の状況や、人間関係を作り、各方面でアドバイスを頂いたり、相談に乗ってもらっている。</p> <p>(外部評価) 地域包括支援センターの社会福祉士の方からケアプラン作成についてのアドバイスをいただいた。乱暴な行為がみられる利用者について、町の担当者と相談しながら、他施設への入所につなげられたこともある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) スタッフミーティングで指定基準についての学習会をし、身体拘束に関しての理解をし、実践している。</p> <p>(外部評価) 玄関は出入りするとチャイムが鳴るようになっている。日中は施錠をせず、利用者は自由に出入りできるようになっている。管理者は、月1回のミーティング時には、「利用者の自由な動きを言葉で止めないこと」についても職員に話しておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 各種法令通知は、頻回ではないが周知している。虐待に関する勉強会は、昨年1回行った。何が虐待にあたるか常に考え防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護に関する制度について、職員は概ね理解できている。現在成年後見人制度を利用している利用者があり、将来的に、制度利用の可能性のある人についても家族や、職員間で話し合っている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の締結解約、改定は口頭で十分な説明をした後に、書面での契約を行っている。新築・移転や介護報酬の改定などは、口頭、書面、両方で行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者・家族の意見・要望は電話、面談などを行い、取り入れ運営できているが、家族の要望を外部へ表せる場合は、外部評価のアンケートのみとなっている。今後、地域への公表にも載せていきたい。 (外部評価) 管理者は、面会時や電話でご家族に意見を聞くようにされているが、「お任せします」と言われることも多いようである。2ヶ月毎に、事業所便りに写真を添えて、ご家族に送付し、利用者の様子を伝えておられ、「楽しみに読みよるよ」と言ってくださるご家族もある。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回全職員参加のミーティングをしている。また、日常業務の中で、職員から意見・提案がだされ、検討し実施にいたっている。	
			(外部評価) 職員のアイデアや提案は、その時々管理者に伝えられ、「まずはやってみる」ことに取り組まれている。法人は、外部研修の受講に協力的で、職員は、県内・外の研修に参加されている。職員の誕生日には、法人代表夫妻からお花のプレゼントがあり、お祝いして下さる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 資格に応じた給与になっており、職員全員資格取得に意欲的で向上心を持ち仕事している。職員の半数以上が介護福祉士の資格を持ち、他の職員も全員介護福祉士の資格取得を目指している。	
			(外部評価) 職員個々に必要とされる研修を受け、現場で実践できるよう努めている。職員の力量を把握し、様々な担当を決め、確かな人員配置ができています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員個々に必要とされる研修を受け、現場で実践できるよう努めている。職員の力量を把握し、様々な担当を決め、確かな人員配置ができています。	
			(外部評価) 地域ケア会議に、職員が交代で参加し、同業者との意見交換や勉強会ができています。以前より希望していたグループホームとの交流も一歩踏み出すことができた。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地域ケア会議に、職員が交代で参加し、同業者との意見交換や勉強会ができています。以前より希望していたグループホームとの交流も一歩踏み出すことができた。	
			(外部評価)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前の状況を把握しきれないところは、親族、医療機関から情報収集を行う。本人との会話と観察などで要望を受け止め不安をなくすよう努める。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状態・要介護度・家族の希望などを聞き適切な支援を行うよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	作業が可能な利用者さんの居室の掃除や花畑の手入れをお手伝いさせていただく。歩んで来られた経験豊富なお話をよく聞かせていただく。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方が訪問され易いオープンで和やかなホームである様努めている。来られたご家族は本人スタッフも交えて、いろいろな楽しい会話して下さる。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 同窓会や敬老会の案内があれば参加していただく。気軽にお友達が訪ねて来て下さる。 (外部評価) 敬老会に参加できる年齢になられた利用者が、9月の地区の敬老会に出席できることを楽しみにされている。お友達と電話をされたり、手紙や年賀状を書いたものを職員が投函し、友人からのお返事を楽しみに待っている方もある。友人が本や写真を持って訪ねて来てくれる方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者同士の関係は職員が関与しすぎないようにし、それぞれが良好な関係を保つよう努めている。徘徊のある人へ、他の利用者からの言葉に気を付けている。
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	サービス利用が終了した利用者の現状を家族や施設の職員から聞き、相談にも応じてきた。サービス終了して数年経ってもよく訪問してくれる家族もあり、運営推進会議に出席してもらったこともある。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	日常の利用者の言動や行動を気にとめミーティングで意見交換し希望に沿うよう努めている。
			(外部評価)	
			現在、職員全員でアセスメントの見直しに取り組まれている。職員は、利用者1対1で話す機会を多く持つよう心がけ、利用者の暮らしへの思いや意向を探っておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	入所されるまでの経緯は家族さんや行政関係者より情報を得る。本人より普段の生活に馴染んでいただきながら職員との会話(回想)等により把握していく。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	日々変化する利用者の心身状態を把握し、職員全員が情報を共有し、その人に合った生活を柔軟に提供しよう努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護計画作成者は、本人、家族、主治医からの情報を収集し、定期的に職員全体に伝達しそれぞれの意見を反映しケアプランを作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画の支援内容の中から、1ヶ月の重点目標を決めて「ケアプラン行動計画・チェック表」を作成して、毎日その日の担当職員が支援出来たかどうか○×で記入しモニタリングされている。その表をもとに月1回のミーティングで話し合い、評価して介護計画の見直しをされている。健康上のこともあり、医師からたばこをなるべく控えるよう助言を受けている利用者がおられる。ご本人は、「たばこが吸いたい」気持ちが強く、職員は、その思いを医師にも伝え、ご本人も納得するところで折り合いを付け、たばこの本数や吸う時間帯等を具体的に決めて支援をされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>1日の喫煙本数、水分摂取量など個別に必要な人は記録している。また、各種バイタルサインも必要に応じて個別に記録している。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護保険サービスの枠にとらわれることなく、医療保険、労災等利用者に有益となりうるサービスの利用を検討している。現在療養保障給付の申請中</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員が交代で地域ケア会議に参加し、地域での保健、介護医療サービスの現状把握をしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所前からのかかりつけ医に往診してもらうなど、利用者や家族に医療機関を選択してもらっている。在宅医療契約を数名が契約し、24時間体制を確保し、安心して生活できるようにしている。	
			(外部評価) 利用者それぞれにかかりつけ医の往診を月1～2回受けておられる。医師から直接ご家族に説明した方がいいような場合には、ご家族も往診に立ち合われる。床ずれができそうな利用者のケアについて医師に相談された際には、「褥そう予防マット」の使用や栄養面についてもアドバイスをいただいた。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 居宅医療管理指導を受けている利用者がいるが、現在では訪問看護の利用を必要としている利用者はいない。過去に利用していたこともあり、必要な時は、訪問看護の利用ができるよう医療機関との連携ができています。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 利用者が入院中は、病院関係者や本人、家族と連絡をとり、入院中に発生したADLの変化等の把握に努め、退院後の生活が円滑にできるよう介護計画を作成している。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 数名の方が、ターミナルの希望をされている。終末期においての、本人、家族とのかかわり方、対応についてミーティングで意見交換・勉強会を行っている。また家族との話し合いも密に行っている。	
			(外部評価) 看取りの指針を作成され、ご家族に説明を行われた。現在、4名の利用者・ご家族が、「自然な最期を迎えたい」と事業所での看取り支援を希望されている。職員も、「安らかな最期を看取りたい」と思っておられ、事業所では訪問看護や在宅医療との連携体制作りに取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 全職員が定期的に救急救命講習を受けている。また、急変時への対応についての外部研修の受講や、急変時の対応マニュアルを食堂に置く等の対応をしている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 昼夜両パターンを想定した避難訓練を全職員、地域住民と共に行っている。	
			(外部評価) 移転後3月に、消防署の協力を得て避難訓練を行い、民生委員の方にも参加していただいた。シートを使って大柄な人を引っ張り避難させる方法をすべての職員で体験され、比較的簡単に引っ張れることが分かったようだ。消防署の方からは、各居室や居間が掃き出し窓になっているので、災害時は、「利用者をまず窓から外に避難させる」ことについてアドバイスをいただいた。お隣のお宅には協力をお願いされている。たばこを吸う利用者のライターは職員が管理され、喫煙場所でのみ喫煙するよう見守り、火を出さないよう気を付けておられる。備蓄は3日分くらいの食料や飲料水、毛布を準備されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 失敗や迷惑行為には、さりげない声かけを心がけている。個々の考えを尊重し、利用者同士意見が対立する時は、どちらも傷つくことの無いように努めている。	
			(外部評価) 職員、利用者ともに、長いお付き合いとなってきており、「家族のような関係」になってきているようであるが、管理者は、「利用者は人生の先輩」であることを意識して対応されている。他の利用者の居室に入室してしまう利用者もあり、そのことに怒る利用者もいるが、職員はお互いの言い分をゆっくり聞き取り、お互いの関係が保てるよう取り組まれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者自身が職員に気兼ねしないよう感情表出しやすい環境づくりに努め、利用者のニーズの把握に努めているが、入所当初から重度に認知症がすすんでいる利用者の意向の把握が困難になってくる為、決め付けにならないよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 買い物や外出の希望は極力添えるように努めている。入浴も順番ではなく、入りたい時は毎日、拒否の時は翌日にと、本人の意思を尊重している。食事の時間も定めてなく、本人のペースに合わせている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 意思表示のできる人にはその日着る服を選んでもらっている。美容師の訪問カットや、希望によりパーマやヘアダイ等美容室に行き好みのヘアスタイルにしてもらっている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員は一人ひとりの食の好みやアレルギーを把握し、食材や食器を食べやすい形状にして提供している。一部の利用者に限定されるが、準備や片付けを職員と一緒にやっている。メニューにより、刻みなどで対応。 (外部評価) スーパーや産直市に食材を買い出しに行かれて、食材をみながら職員がメニューを考え食事を作っておられる。沢山食べたいが、カロリー制限のある利用者もおられ、食材は盛り付け等も工夫して、見た目が他者と変わらないように配慮されている。月単位の誕生会には、主役の利用者が好きな物を準備するようにしたり、「店屋物が取りたい」と希望される方もあり、時にはカツ丼やラーメンを取ったりすることもある。調査訪問時、利用者は下膳されたり、職員と一緒に食器を洗っておられる様子がみられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 健康状態、好みに応じた食事を提供し、摂取量も個別に記録している。水分不足が懸念される利用者については一日の水分摂取量の記録や、尿量のチェックを行い、脱水状態にならないよう支援している。摂取量が少ない時は、エンシュワで対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 利用者個々に声かけし、食後・就寝前の口腔ケアの対応をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し、トイレの声かけを行い、失敗が少なくなっている。座位の保持ができない利用者、度々の移乗に疲れを訴える利用者には、リハビリパンツやオムツ等で対応し、排泄後は速やかに交換する対応をしている。	
			(外部評価) ご本人の「トイレへ移動するのがしんどい」「足に力が入らない」という理由で、おむつを使用して寝たまま排泄をしていた方がおられたが、排便しにくい状態にあり、職員の提案で、排便があるような時には、「いすに座ってもらう」ようにして、スムーズに排便できるような支援をすすめていこうとされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 職員は利用者個々の排泄のサイクルを把握し、水分摂取量や運動量が適切であるか理解できている。また便秘予防のための医学的理解にもつとめ、研修等にも参加している。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 食事や血圧の変動との兼合いで基本的には午後1:30~3:30の間で行われるが、午前中や夕方に入浴を希望する利用者には体調をみながらできるだけ対応できるよう支援している。曜日や時間は決めていない。	
			(外部評価) 夏場は、週3回入浴できるよう支援されている。冬が寒い地域でもあり、浴室や脱衣所は床暖房を設置されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯、起床の時間は特に定めていない。寝具は、個々の身体状態や好みに合ったものを使用し、照明、室温等にも配慮し、心地良い睡眠がとれるよう支援している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 往診の度、服薬の変更等があると、スタッフ全員が把握し確認するよう努めながら支援している。必ず処方箋をチェックしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 花や野菜を育てたり、インコの餌やりをしたりパズルをしたりと趣味を生活に取り入れている。また、カラオケ・紙芝居等で気分転換を行っている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買い物・外食希望があれば職員と出かける。四季ごとの花の見学や納涼祭、夜市等の参加も行い、それぞれの外出の希望に取り組んでいる。 (外部評価) 近くのドラッグストアに買い物に行ったり、神社にお参りに出かけておられる。「家に帰りたい」と、強く希望する方には、車で家の前まで戻ってみる等支援されている。利用者からの希望により、お墓参りやお好きな歌手のコンサート、外食やドライブ等に出かけておられるが、利用者の状態変化等もあって、最近は決まった方のみでの外出に偏ってきているようだ。	外出にお誘いするが、「しんどいから」と断る方や「行きたい」という意欲が低下しているような利用者も増えてきている状態のようであるが、外へ出かけるきっかけ作りに工夫されて、利用者の懐かしい場所や思い出の場所等に出かけてみられたり、ご家族とも相談しながら、散歩されたりして地域の中に出かけていかれてほしい。又、介護度が重度の利用者も外の空気に触れながら暮らせるような支援を工夫されてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理のできる利用者には、その程度に応じて、小遣いの管理をしてもらっている。金銭管理の困難な利用者は小遣いを預かり、希望により物品の購入を職員がしたり、一緒に買い物に行ったりする。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状・お礼状のお手伝いをしている。また、友人や家族に自分で電話をかけることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関、リビングには季節の花を飾るようにしている。中庭には季節の草花と野菜を植え、世話をしたり、リビングから観賞することもできる。</p> <p>(外部評価) 共有スペースが広い造りで、職員からの希望もあり、利用者の居場所に職員の目が届きやすいように造られている。居間は窓を大きくとり、自然の光を採り入れておられる。居間では時々、卓球したり、ソフトバレーボールを使って運動されたり、カラオケを楽しまれることもある。廊下には、休憩できるように所々にソファを配しておられた。居間から庭に出られるようになっており、庭で野菜を育てたり、バーベキューを楽しまれている。調査訪問時には、職員と一緒にソファに座っておしゃべりする方や職員が見守り喫煙場所でタバコを吸っている方もみられた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) リビング、通路等、利用者同士が会話できるようソファを配置している。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 居室の家具、家電の設置は、個々の利用者のADL、IADLを考慮し、安全を最重要視した上で好みのものや馴染みのものを配置している。ダンス・こたつなど持込みもされている。</p> <p>(外部評価) 各居室、床暖房となっており、トイレもある。仏壇や使い慣れたダンスを持ち込んでおられたり、冷蔵庫を置き、ご家族が持って来られた飲み物や果物をお好きな時に飲食する方もいる。ジグソーパズルの好きな方は、テーブルに作りかけのパズルを広げておられ、少しずつされている。居室の灯りのスイッチは、手が届きやすいように低い位置に設置されており、ご自分で点けたり消したりする方もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) 歩行に手すりが必要になれば居室内に手すりを設置する等、臨機応変に対応している。整理ダンスには衣類の名前を記入し、できる範囲で衣類の整理や着替えができるようにしている。居室の名札も工夫している。</p>	